

阿蘇市を取り巻く火山の歴史

阿蘇市は熊本県の北東、阿蘇地域の中央部に位置し ており、大分県との県境を有し、大分県の2市を含めて 8つの市町村と隣接している。阿蘇地域には、世界最大 級のカルデラを有する活火山の阿蘇山が位置している。

約9万年前、阿蘇山が現在ある場所には数多くの火 山があり、これらが一斉に噴火活動をした影響で地下 に大きな空間ができ、この活動が終わると阿蘇地方に 大陥没が起こってカルデラが形成された。これにより阿 蘇地域を囲む壁のような今の外輪山の原型が生まれた と考えられている。カルデラ内で人々は火山と共に今も 生活しており、火山が轟々と鳴く音が日常である。

阿蘇のカルデラははるかに大きく、東西約18km、南 北約25kmと熊本城387個分の大きさを誇る。

阿蘇地域の土壌

阿蘇地域は火山性土壌で、火山灰や腐葉土を含んだ 非常に強い酸性のため、養分に乏しく生産に向いてい なかった。しかし、草を食べた牛の堆肥や草資源を活用 した緑肥により土壌改良を長年継続した結果、今の弱 酸性の土地ができ、野菜や花卉栽培など多様な農業が 可能となった。また、阿蘇市の年平均気温は約13℃と 低めで、四季を通じて比較的冷涼多雨な地域であるた め、平坦地では稲作を中心とした農業、山間地では高 冷地野菜づくりが盛んになっている。

厳しい気候ほどよく育つ阿蘇高菜漬け

「阿蘇高菜漬け」は寒さが厳しく作物が育ち難かった 阿蘇地域で、古くから常備食として各家庭で漬けられて いる。平成19年には地域団体商標登録されており、阿 蘇市内および阿蘇郡以外で栽培された高菜を使用した

カルデラで栽培『阿蘇高菜漬け』 熊本県「阿蘇市

八千代エンジニヤリング株式会社/管理統括本部/総務部/厚生課

本田 悠稀実 HONDA Yukimi (会誌編集専門委員)

阿蘇山は実在しない?

根子岳 (1,433m)·高岳 (1,592m)·中岳 (1,506m)· 鳥帽子岳 (1,337m)・杵島岳 (1,321m) などを総称した阿蘇五岳を中心に外輪 山も含めて阿蘇山と呼ばれており、実は阿蘇山という単体の山は存 在しない。現在では中岳のみが火山活動をしており、時たま噴火警 報が出ているが地域住民はさほど気にしていない模様。

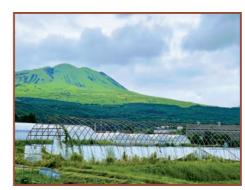


写真2 ふと視線を上げると見える往生岳

ものは、阿蘇高菜漬けとして認められない。

「阿蘇高菜 | はアブラナ科のからし菜の一種であり、 阿蘇の厳しい気候風土が生み出した在来野菜である。 一般的な高菜と比べて、阿蘇高菜は茎が親指や人差し 指程度に細く、道具を使わない一本ずつ手で折る「高 菜折り」と呼ばれる独自の方法で3月ごろに収穫され る。収穫後は阿蘇高菜に対して5%前後の塩と胡椒を 味付けのついでに防腐剤として散らして、樽で漬けこむ。 5日程度漬けられたものは新漬けといって、色鮮やかな 緑色をしており、これをさらに漬け込むと黄味がかった 緑色の古漬けに変化する。これがピリリとした辛さで、 つい食べ過ぎてしまう。

阿蘇高菜漬けの有名かつお勧めしたいアレンジが「高 菜めし」である。こちらは阿蘇高菜漬けの油炒めとごは ん、お好みで胡麻やシソの実、錦糸卵などを混ぜ合わ

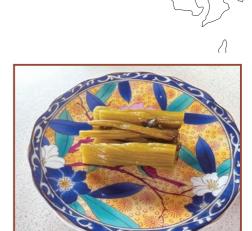


写真3 阿蘇高菜の古漬け

せたシンプルな料理だが、シンプルだからこそ誰でも挑 戦しやすい。阿蘇地域では名物料理として様々な飲食 店や旅館で高菜めしが提供されているので、熊本を訪 れた際には是非味わっていただきたい。

- 1) 阿蘇火山火口規制情報 http://www.aso.ne.ip/~volcano/index.html
- 2) 世界農業遺産 "阿蘇"オフィシャルサイト https://www.giahs-aso.jp/ 3) 阿蘇ユネスコジオパーク http://www.aso-geopark.jp/

- 1) 旅の宿 阿蘇乃湯 http://www.asonoyu.com/onsen.html
- 2) 阿蘇高菜農家の池田さんご一家

医盲は全て筆者

「食から見る地域」は、郷土色ゆたかな日本各地の「食」について、その文化的・自然的背景を知ることで、より深く味わっていただくコーナーです。

032 Civil Engineering Consultant VOL.297 October 2022 Civil Engineering Consultant VOL.297 October 2022 033